

令和8年 第19回小松川交流大会（大会要項）

1. 本大会は、トーナメント方式とする。
2. 試合は6回戦とし、1時間20分を越えて新しいイニングに入らない（勝ち逃げあり）。
なお、大会期間中の各面の第一試合は、試合前シートノックを行う事ができる。ノックの時間は5分以内とする。
3. 6回終了、又は時間切れ同点の場合は、タイブレーク方式を採用する。
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする無死一塁・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、1イニングを行う。タイブレーク方式でも勝敗が決まらない時は、最終メンバー9名による抽選を行い、勝敗を決定する。
4. コールドゲームを採用する。
本大会は、4回10点・5回以降7点差以上でコールドゲームとする。なお、強風・降雨・日没等の場合は4回にて試合成立とする。
5. ベンチ入りは、代表者、保護者代表、監督、コーチ2名、スコアラー1名、選手は25名以内とする。**なお、選手のお世話係として2名までベンチ入りできるものとする。**
6. ベンチは抽選番号の若い番号を1塁側とし、先攻・後攻は審判立会いのもとジャンケンにて決定する。
7. チーム応援は、所定の場所で行う。
8. 参加チームは、単独チーム又は全軟連発第112号による連合チームとする。単独チームについては、一切の補強を認めない。
9. 選手登録
 - ◎ 選手の背番号は28、29、30を除く0~99番以内とする。監督は30番、主将は10番とし、コーチは28、29番を付けること。
 - ◎ 選手全員スポーツ保険に加入していること。なお、大会期間中に発生した事故に関しては応急処置以外一切の責任を負わないものとする。
 - ◎ 選手及び監督コーチは、ユニホーム・帽子・ストッキングは、統一したものを着用すること。なお、連合チームの場合は元のチームの統一したものを着用すること。ただし、背番号の重複は避けること。
 - ◎ 試合開始30分前までに大会本部にメンバー表を提出すること（なお、選手は試合開始40分前までに集合すること）。
10. 投手の投球制限については、1人の投手につき1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が完了するまで投球できる。なお、70球以内に投手を交代した者は、1日の投球数70球を限度に再び投手として戻ることができる。**新4年生以下の投球は認めない。**
投球数のカウントはチーム関係者1名が相手チームを行う。カウント方法は、大会本部の機材を使用し指定場所で行う。
11. ヘルメット、捕手用防具、及び金属バットは、全軟連公認(JSBB)のものに限る。なお、ヘルメットは8個以上用意すること。一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。
12. 試合中の選手交代は迅速に行うこと。また、ランナーコーチは選手とする。
13. ランナーコーチは、ベンチからヘルメットを着用してコーチヤーズボックスへ行くこと。
また、ボールボーイ、ボールガールもヘルメットを着用すること。
14. 投球練習の際、キャッチャーは必ずマスク・捕手用防具を着用すること。また、2回以降のキャチャーの声かけは、定位置で行うこと。
15. **指名打者ルールは、採用しない。**
16. 上記に記載されていない方法と規則は、全軟連規則を準用し、特別ルールは本連盟にて決定し実行する。